

TAMURA UDCT

田村地域
デザイン
センター



警察官立寄所

UDCT

田村地域デザインセンター

東京大学空間計画研究室と田村市の共同研究

2005年3月 船引町、常葉町、滝根町、大越町、都路村
が合併し、田村市に。

2007年10月 共同研究スタート

2008年8月 田村地域デザインセンター（UDCT）設立

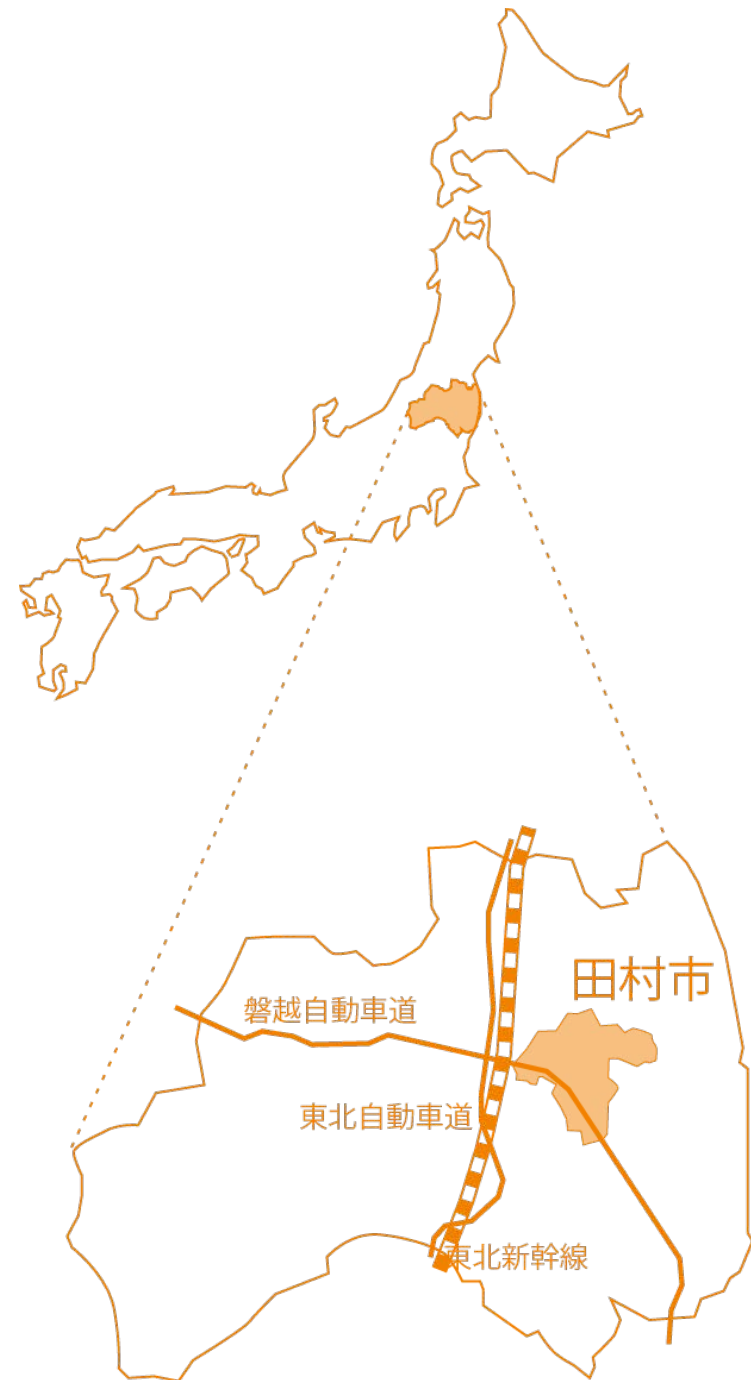
市役所・市長の全面的な協力

専門家（東大研究員）が駐在して運営する拠点（センター）

田村市

- ・ 人口42000人
- ・ 東京から 2 時間半
- ・ 郡山から30分

かつて葉タバコ産業で栄えたが、
現在、中心市街地の空洞化が進んでいる。





福島県阿武隈高原



農と自然がある



葉タバコの繁栄時

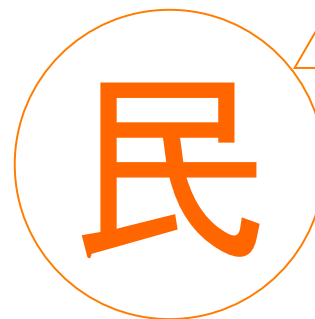


駅前商店街の空洞化

田村市
City of Tamura
田村市行政区長会
Tamura Municipal committee
福島県三春土木事務所
Civil engineering department
Miharu, Fukushima Pref.
商工会
Commercial committee
JAたむら
Japan Agriculture Tamura



新しい
公共体



栄町商工振興会（船引）
Sakae Chamber of commerce, Funehiki
菅谷を明るく元気にする会（滝根）
Sugaya Livable organization, Takine

東京大学
The University of Tokyo
日本大学郡山
Nihon University Koriyama
福島大学
Fukushima University



行政区（旧町村）単位での研究・実践

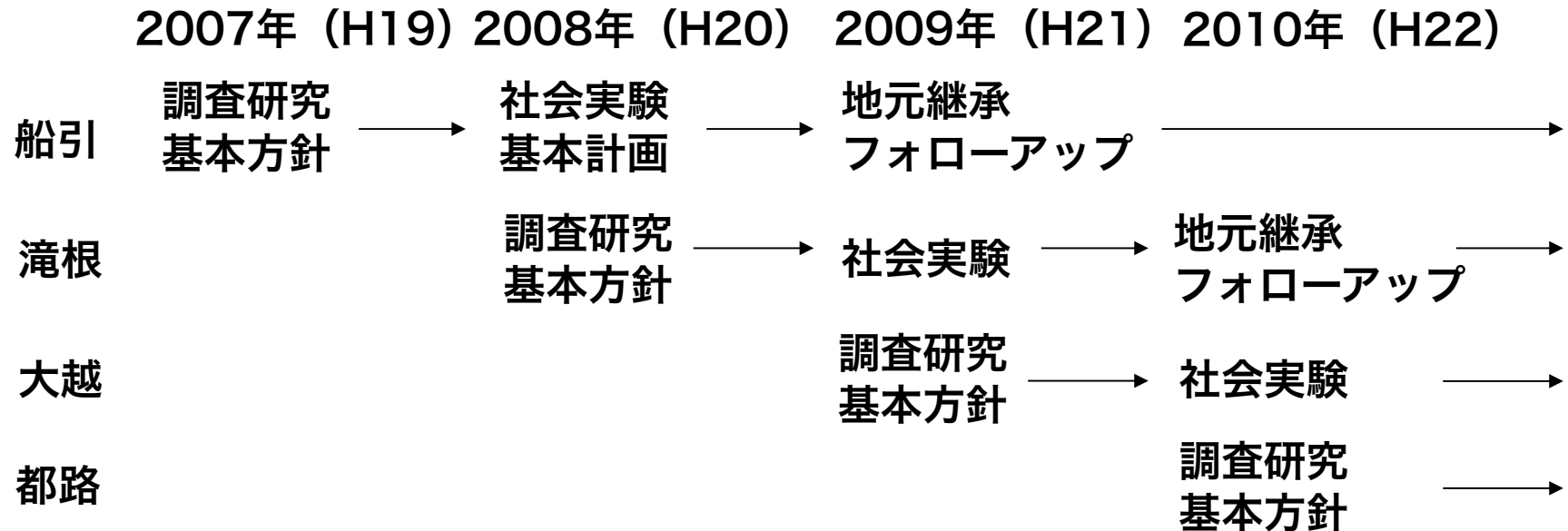
調査研究・まちづくり基本方針の策定



社会実験の実施（まちづくり基本計画の策定）



地元継承・フォローアップ



大越

2009年度は大越地域を調査



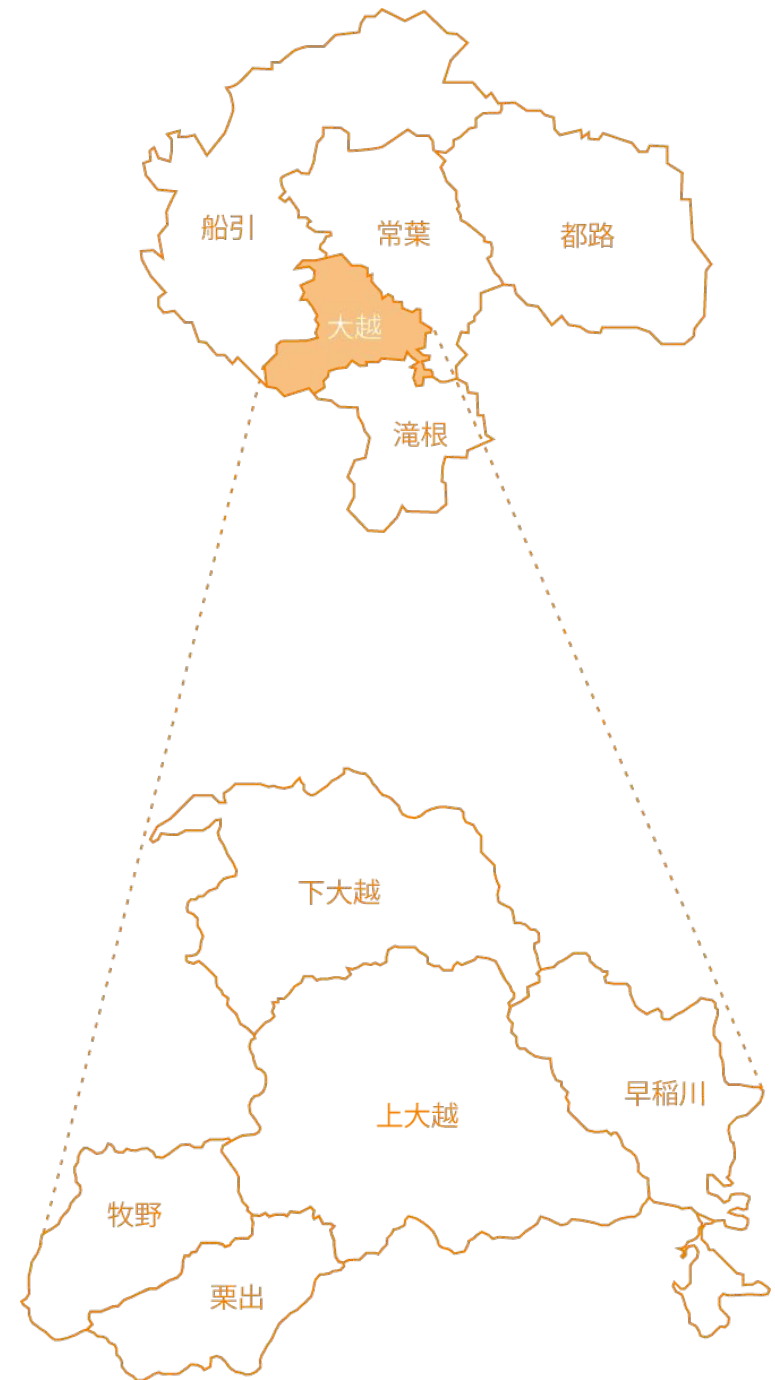
2010年度は社会実験を行う

人口 : 5481人

世帯数 : 1513世帯 (平成17年)

石灰産業で栄えたが、
セメント工場撤退により
産業が衰退。

地域住民によるまちづくり活動が盛ん。
特に花にまつわる活動。









調査の経過

	調査	ワークショップ	その他
<p>5 2009</p> <p>5/21 (木) ~ 5/24 (日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区毎の踏査 ・ ヒアリング調査 	<p>第1回ワークショップ (5/21 大越行政局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大越の良い点悪い点 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴神華の会活動参加 (5/23) ・ 高柴山山開き参加 (5/24)
<p>6</p> <p>6/26 (金) ~ 6/28 (日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特徴的集落調査 ・ 駅周辺の詳細調査 ・ 住友大阪セメント工場跡見学 ・ ヒアリング調査 	<p>タウンミーティング (6/26 大越行政局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田村市全体を対象とした意見交換 ・ 大越の風景資源 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民泊体験 ・ 牧野ひまわり会活動参加 (6/28)
			
			

7

7/24 (金) ~ 7/25 (土)

・ヒアリング調査

第2回ワークショップ
(7/25 大越武道館)
・まちづくりのアイデア
出し



9

9/25 (金) ~ 9/26 (土)

第3回ワークショップ
(9/25 大越行政局)
・資源を活かすまちづく
りの組み立て

・民泊体験



2

2/2 (火)

2010

・備北粉化工業(株)地下採石
場見学
・ヒアリング調査

来年度実験検討会
(2/2 大越行政局)
・来年度のまちづくり実
験に向けた意見交換





「農」：「田園風景」の保全・活用

基本的考え方

- ・地域のまちづくりと都市住民との交流を通じて、大越の田園風景を保全・活用していく
- ・農業振興策＋観光交流策、地域活動支援、風景維持のためのルールづくりなどの連携



施策提案

- 民泊農業体験
- 農家バンク
- 耕作放棄地の花畑化
- 田園景観の選択的保全計画
- 「いなか道」散策ルートづくり
- 草の根地域情報の発信
- ふるさとの味の発掘・PR



「石」：「石灰資源」の活用と発信

基本的考え方

- ・石灰産業に加え、良質な水や農産物、採石場や工場の景観など、「石灰」に係わる資源を結びつけてとらえる
- ・「石灰」を軸に、観光・交流面においても大越町をPRしていく



施策提案

- 石灰観光ツアー
- おおごえライブ（工場跡地のイベント活用）
- 石灰が育む「健康」食品
- 石灰都市サミット

「駅」：移動交通の充実と拠点地区のまちづくり

基本的考え方

- ・ 交通拠点を中心に地域内交通の充実を図り、教育施設や福祉施設、商店など日常生活を支える機能を維持する。
- ・ 大越駅周辺では、既存の空間資源を活かしてお年寄りや子供の居場所となる空間づくりや、人の集まりを生み出すイベント活用等を図る。



施策提案

- 地域で支える公共交通
- 一人用移動手段の利用環境づくり
- まちの玄関 大越駅前の利活用
- 花の駅大越
- 通り沿いの景観形成
- 子供と高齢者の居場所づくり



「娯」：地域文化交流の中心としての「大越娯楽場」の再生

基本的考え方

- ・娯楽場を「記念物」として残すのではなく、地域の文化交流の中心、地域のシンボルとして再生していく。
- ・映画の上映や芝居の興行、市民の文化活動の発表の場等として活用する。
- ・大越町内の各地区が順番に管理を行ったりイベントを企画するような仕組みづくりを行う。



施策提案

- 大越「娯楽」場の再生
- 映画の日
- 全国芝居小屋会議
- 駐車場の登録融通システム

「人」：まちづくりに係わる「人」の思いと活動の連携

基本的考え方

- ・まちづくりに係わる人々の思いとその活動の力を、まちづくりの原動力として、支援し、育て、活かしていく。
- ・「花」「城・館の跡」「バーベキュー」「イルミネーション」といったテーマを共有し、取り組みをつなぐ。
- ・まちづくりに係わる人や組織が、立場を超えて集まり、活動の計画を話しあい、連携するための場をつくる。



施策提案

- 大越まちづくり会議
- 大越花街道
- 「田村四十八館」巡り
- 春夏秋冬の地域活動交流
- 川から始める地域連携

2010年度は、



調査→基本方針

社会実験

菅谷駅前の整備 (広場+トイレ)



菅谷駅周辺の提案

2008.9 田村地域デザインセンター UDCI

Urban Design Center Tamura